

千曲市差別撤廃人権擁護審議会概要

日 時 平成31年2月1日(金)

13:30~14:30

場 所 人権ふれあいセンター

(出席) 島谷正行委員・春日和子委員・久保田雅子委員・中村尊志委員・
中村豊明委員・中村博雅委員・清水八重子委員・高橋文彦委員
寺澤孝一委員・朝日光彦委員・町田秀敏委員・山根義夫委員
堀口強委員

事務局：荒川健康福祉部長・高野人権・男女共同参画課長・岡田係長・
坂口主査

1. 開 会 春日副会長
2. あいさつ 市長・島谷会長
3. 諮問
4. 審議事項

(1) 「第3次人権と暮らしに関する総合計画」(案)について
*事務局より説明

《質疑応答》

委 員 同和問題の項目で⑤インターネットの部分について、インターネットに記載されたものを削除することは市ではできないのですか。

事務局 プロバイダーとかの関係になるかと思うが、法の整備がされていないので難しいです。

委 員 第3次暮らしと人権に関する総合計画の体系図を見て、基本施策で「人権・平和についての意識を向上させる」となっており、施策では「人権・平和教育の推進」となっていますが、「平和」と「平和教育」の違いを教えてください。
人権で言う平和教育と違うとは思いますが、学校教育でイメージしかねないので、平和教育を入れた意図があれば教えてください。

事務局 総合計画にはセットで「人権・平和教育」ということで載っています。今回の個別計画では平和に関して詳しく載っていないのはご指摘のとおりです。戦争は究極の人権侵害として「平和のつどい」開催し、施策として取り組んでいます。今回の計画はこのような形ですが、次回の計画では検討したいと思いますので、ご理解をお願いします。

会長 他に異議がなければ、「第3次人権とくらしに関する計画」(案)について、適当と認めてよいですか。

委員 異議なし

(2) その他

《ご意見》

委員 先生方にお聞きしたいのですが、以前学校では土農工商などと身分について教えていたと思うが、今はそのような教え方はしていないと聞いたがどうですか。

委員 教えていないのではなくて違った視点で教えている。百姓や商人というような形で、名称として土農工商という社会体制があるという教え方はしていないです。言葉や考え方を変えて、違う形で教えています。

委員 この頃、人権の方で地域の活動を発表させていただく機会がありましたので、感じたことを申し上げます。

私が企業に勤めていた頃から人事や採用を含めて人権について変わってきたなと感じております。今の時代の変化はものすごく早い。人権課題が複雑化する中で、ますますこれから色々な問題や人権課題もあるのではと感じております。 行政はいろいろな情報を提供していただいて、地道にあきらめないで人権行政はやっていくしかないと感じております。

人権・男女共同参画課という課名で参画という名が入っていますが、計画、企

画の画であり、女性の能力を活かして大事な場面で活躍してほしいと思います。
参加ではなくて参画してほしいということです。

それから、総合計画にもあり、アンケート結果からもわかるとおり、相談体制の充実をしてほしいと思います。

若い人が少ない中で選挙権が18歳以上になりました。公民、人権の行使というか公民教育も必要だと思います。

5. 閉 会 春日副会長